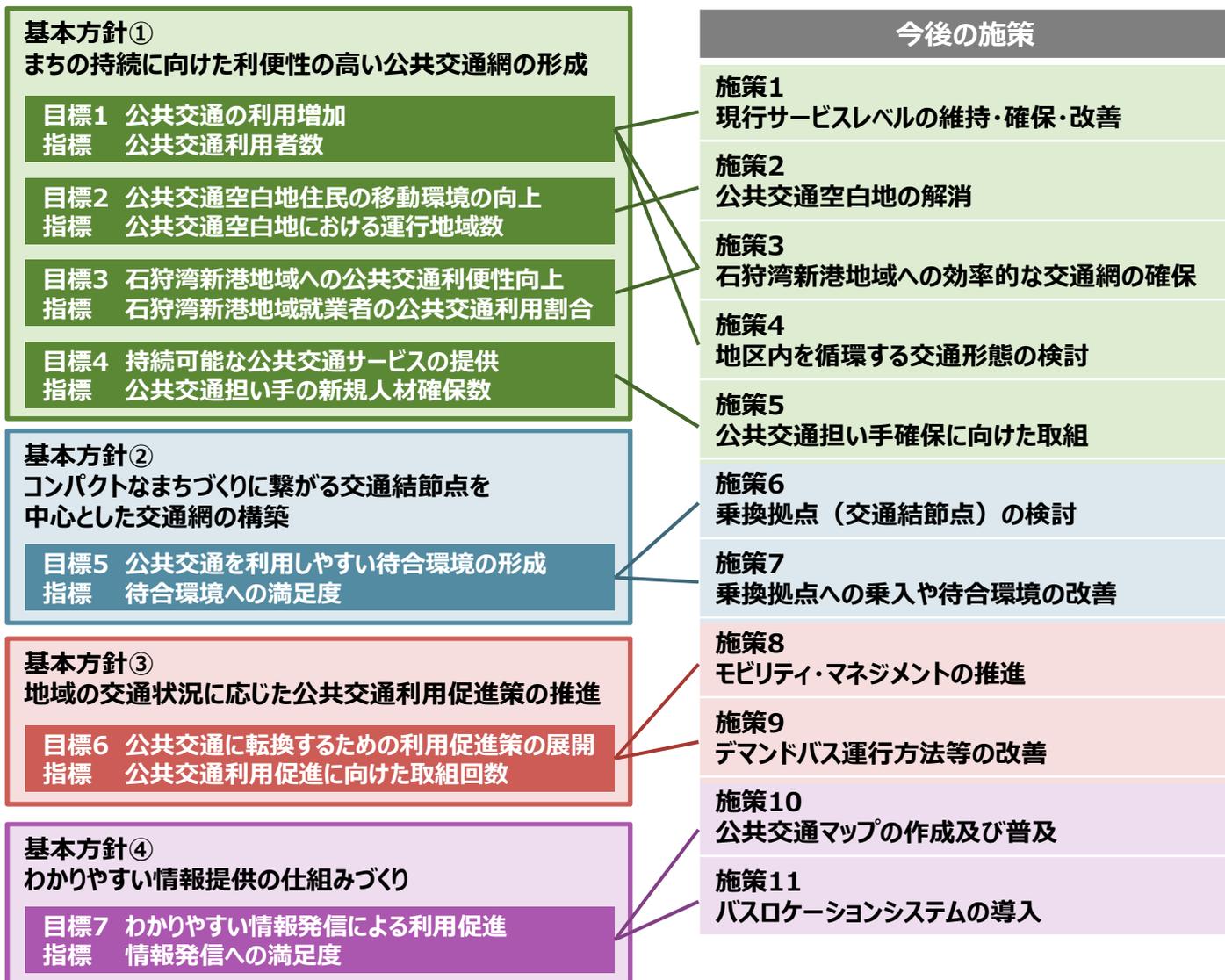




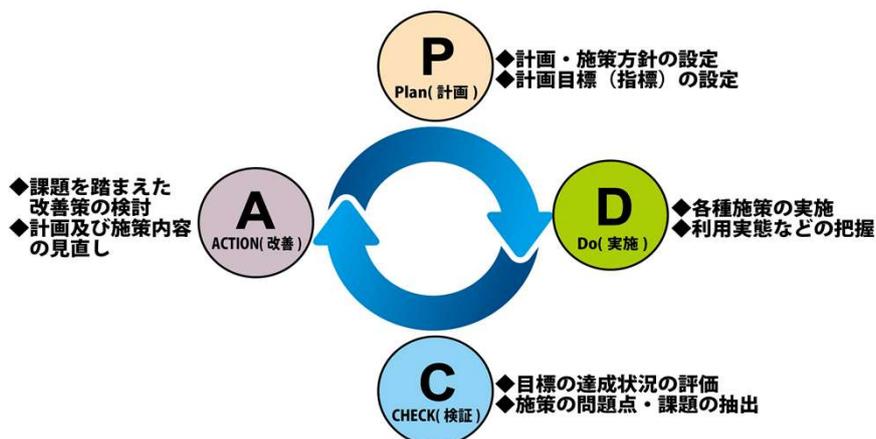
■ 計画の基本方針・目標及び施策

「石狩市地域公共交通網形成計画」で定めた計画の基本方針・目標及び目標を実現するため実施する施策は下記のとおりです。



■ 計画の進行管理

本計画で策定した基本方針及び個々の施策の進行管理については、PDCAサイクルに基づく達成状況の評価を「石狩市地域公共交通活性化協議会」が主体となって実施し、施策に関わる全ての関係者（市民、交通事業者、行政等）が評価結果について共有しながら適宜見直しを行っていきます。



石狩市地域公共交通網形成計画に基づく施策の進行管理



「石狩市地域公共交通網形成計画」に基づき、令和元年度は下記の取組を実施した。

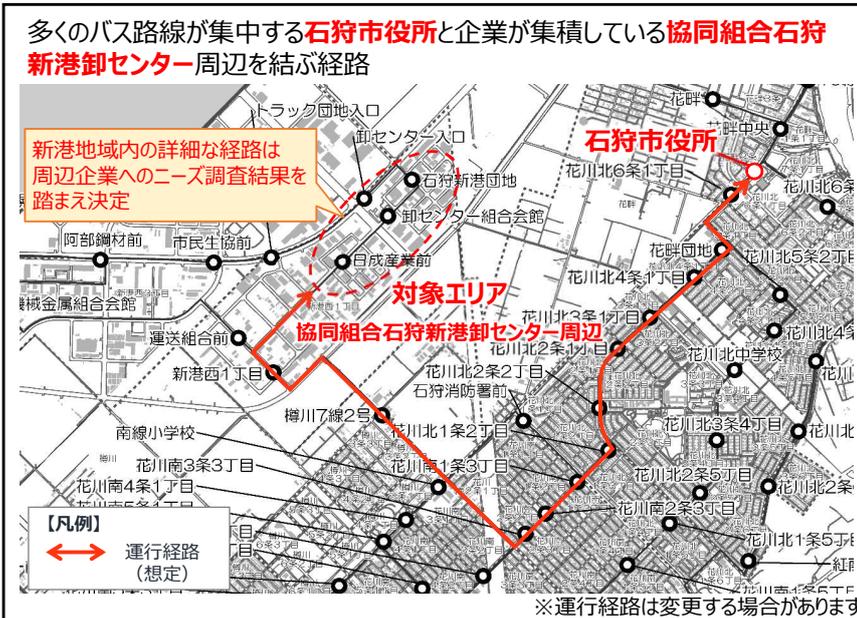
■ 主な施策の取り組み内容

基本方針① まちの持続に向けた利便性の高い公共交通網の形成

項目	施策3 石狩湾新港地域への効率的な交通網の確保
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 操業企業のニーズや市民の潜在的な就業ニーズに対応した、新たな交通形態（乗合自動車等）も含めた効率的かつ利便性の高い交通網を確保する。 ■ 石狩湾新港地域内での交通結節点についても検討を進める。
今年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 次年度の石狩湾新港地域における新たな交通システム実証実験運行に向けて、関係機関と協議を行いながら、検討を進めた。 ◆ 現在は操業企業への実験への参加意欲・利用予定人数等の調査を行い、想定される利用者等を踏まえ、交通事業者と調整のうえ、車両規模・実験期間・詳細ダイヤ等について検討し、春期（R2年5～6月頃）の無償による運行実験及び冬期（R3年1～2月頃）の有償による運行実験を目指している。 <p>※本内容については、資料2参照</p>
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> □ 交通事業者との調整を行った後、無償による実証実験を実施する。 □ また、上記実験結果を踏まえ、運賃・運行方法等を検討し、本協議会での議論を行った上で有償による実験実施を目指す。

【実証実験の概要】

▼ 運行経路



目指す 効果

- 通勤手段の確保による雇用増加
- 移動手段の拡充による地域活性化

▼ 運行期間・料金

利用者の意向（利用時間帯、支払意思額等）を調査することを目的に、**春期（R2年5～6月頃）**に1～2週間程度の**無償**による運行実験を実施します。

さらに、春期に行った実験を踏まえ、運賃や運行方法を検討し、**冬期（R3年1～2月頃）**に**有償**による運行実験を実施します。

※運行期間は変更する場合があります

▼ 運行便数・運行時間

パート・アルバイトの方を主な利用者として想定し、過去に実施した新港地域就労者アンケート調査結果の出退社時間の傾向から対象運行便数を8便/日程度を想定しています。

7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台
	①	②	③				④	⑤	⑥	⑦	⑧

凡例
■ : 石狩市役所発
■ : 新港地域発

※詳細なダイヤは今後決定

▼ 新たな交通システムのイメージ





基本方針① まちの持続に向けた利便性の高い公共交通網の形成

項目	施策4 地区内を循環する交通形態の検討
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 花川、樽川、緑苑台地区における買い物施設や病院施設とのアクセス性向上を図るため、細街路も含めた市街地を循環する新たな交通形態の導入について検討する。 ■ 新たな交通形態の検討にあたっては、自動運転技術やMaaSなど最先端ICT技術の活用等も視野に入れながら検討を進める。 <p>【MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）】 出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念</p>
今年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新たな交通形態の導入に向けた調査・研究として、北海道・石狩市などからなる「自動走行利活用研究会」が主体となり、花川北地区において、自動走行車両の体験乗車も含めた実証実験を行った。
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> □ 実証実験結果を踏まえ、持続可能な高齢者などの交通手段の確保を図るため、引き続き調査・研究を進める。



地域住民による体験乗車の状況



小型モビリティの展示

自動走行利活用研究会

自動走行車両の体験乗車者募集！

実験の内容

- ・自動走行車両が地点①と②を結ぶルートを行きます。
- ・車両呼び出しボタンを押すだけの簡単な操作で乗車できます。詳しくは当日説明いたします。
- ・途中下車も可能です。
- ・乗車後は実験の感想等をお聞きする簡単なアンケートに回答していただきます。

▼体験乗車実施期間
 2019年10月17日（木）9：00～14：00
 2019年10月18日（金）9：00～14：00
 2019年10月19日（土）9：00～16：00 ※12時台は休止
 ※長期間雨が想定される場合は、2019年10月24日（木）～10月26日（土）に延期

▼体験乗車参加費用
無料

▼対象年齢
中学生以上、中学生未満の方は、保護者の同伴が必要です。

▼乗車方法
○当日に上図の地点①、②で受付をおこないますが、予約された方を優先いたします。
○予約希望者は、裏面の記入欄にご記入いただき、キリトリ線で切り取り、コープ入口に設置してある回収ボックスに投函ください。

締め切り：10月14日（月）

※応募人数が多い場合は、抽選とさせていただきます。（当選者には電話にてご連絡いたします。）

自動走行車両の内容・応募用紙は裏面をご覧ください。

自動走行利活用研究会

地域の移動手段の確保に向け、自動走行システムの導入を検討したいと考えています。そこで、実際に皆様に自動走行車両に体験乗車していただき、感想や意見を参考に、今後の開発や導入の検討に活かしたいと思います。たくさんのご参加、お待ちしております。

そもそも自動走行車両とは？

ドライバーが運転操作をしなくとも、自動で移動してくれる車両です。

つまり…

誰でも簡単に移動できる！

運転できない人も安心！
新しい交通手段になります！

▼実験で使用する車両

- ・今回は左のようなゴルフカーに乗っていただきます。
- ・時速は10km程度で、揺れも少なく安全です。
- ・障害物をしっかり感知します。
- ・係員と一緒に乗車し、さらに、カメラや道路上で監視する監視員もいるので安心して乗車できます。

キリトリ

氏名	電話番号
第1希望日時 ()日()時台 ()人で参加します。	
第2希望日時 ()日()時台 ()人で参加します。	
第3希望日時 ()日()時台 ()人で参加します。	

※当選者には電話にてご連絡いたします。ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。
 ※雨により延期した場合は、予約された曜日と、同じ曜日に体験乗車させていただきます。
 (例) 10月17日（木）に予約したが、雨により延期した場合、10月24日（木）に体験乗車
 賞券等がありましたら、0133-72-3199（石狩市企画経済部企画課交遊担当）にお電話ください。

実証実験（体験乗車）のチラシ



基本方針③ 地域の交通状況に応じた公共交通利用促進策の推進

項目	施策9 デマンドバス運行方法等の改善
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浜益地区のデマンドバスについては、高齢者の予約への抵抗感や土日運行へのニーズなど様々な課題が確認されていることから、運行方法の改善について検討する。 ■ 路線バスとデマンドバスとの接続について、わかりやすい情報提供方策等を実施する。
今年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 今年度4月から、福祉利用割引券の運賃利用が可能となった。 ◆ 道の駅のバス待合スペースに、ポスターによる広報とともにデマンドバスの予約ダイヤルが記載されたカードを配置した。
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> □ 住民のニーズの把握に努め、利便性向上等に向けて改善を図っていくとともに、利用者増に向けて回覧等で周知を図る。



道の駅あいろーど厚田でのポスター掲示



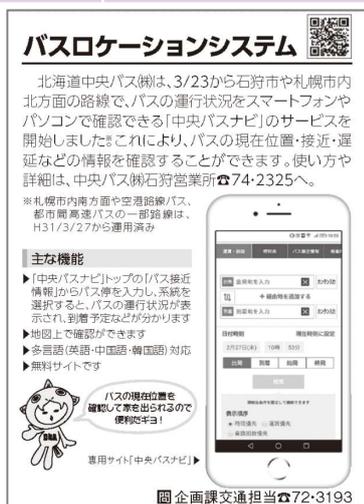
浜厚線広報用ポスター



予約ダイヤル記載カード

基本方針④ わかりやすい情報提供の仕組みづくり

項目	施策11 バスロケーションシステムの導入
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマートフォン等を通して、バスの走行位置等を知らせるバスロケーションシステムを導入する ■ バスロケーション情報を提供するために、バス停周辺の公共施設や商業施設等におけるデジタルサイネージの設置について検討する。
今年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 札幌市内一部路線で先行実施していたバスロケーションシステムが、R2.3.23から石狩市内路線で実施。
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> □ システムの周知・普及に向けた広報活動（広報誌等）を進めていく。



広報4月号



中央バスナビ広報チラシ





■ その他施策の取り組み内容

基本方針① まちの持続に向けた利便性の高い公共交通網の形成

項目	施策1 現行サービスレベルの維持・確保・改善
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民が安心して生活できる公共交通を確保するため、公共交通の利用促進策により利用者を確保し、現在のバス路線・デマンドバス（浜厚線・滝浜線）の維持・確保に努める。 ■ 利用者ニーズとの不一致がみられる路線やダイヤについては、交通事業者と協議を進め、改善に向けて検討する。 ■ 高齢化社会の進展や障がい者の社会進出に対応するため、公共交通のバリアフリー化を推進する。
今年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現行ダイヤの維持・改善等について、交通事業者と意見交換を進めた。 ◆ 地域公共交通確保維持改善事業（バリアフリー化設備等整備事業）により、ダイコク交通株式会社でユニバーサルデザインタクシーを新たに7台導入した。
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> □ 引き続き交通事業者との意見交換を進め、改善等について検討していく。（交通事業者の協力により、車椅子のまま乗車いただく際の効率化を図り、より利用しやすい環境を整えていく。）

項目	施策2 公共交通空白地の解消
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公共交通空白地である生振、美登位、北生振、八幡地区や既に有償運送が実施されている厚田区については、地域住民と意見交換を進めて日常的な移動環境（デマンドバス、乗合タクシー、公共交通空白地有償運送、スクールバス活用等）を確保する。
今年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共交通空白地有償運送が行われている厚田区においては、厚田区地域協議会を通して、あつたライフサポートの会（NPO法人）の存続可否を含めた持続可能な移動手段の確保に向けて地域住民と意見交換を進めた。 ◆ 今年度は生振地区住民との意見交換会を3月上旬開催を予定していたが、コロナウイルス感染拡大防止のため、意見交換会開催を次年度に延期した。
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> □ 厚田区においては、厚田区地域協議会を通して、引き続き持続可能な移動手段の確保に向けて議論を進める。 □ 延期となった生振地区や他地区での意見交換会を開催し、地域住民との地域が抱える課題を踏まえた移動環境の確保に向けて意見交換を行う。 □ 法改正を踏まえ、乗り合いタクシーやスクールバスの更なる積極的活用など検討を進める。

項目	施策5 公共交通担い手確保に向けた取組
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 喫緊の課題である運転手確保対策として、関係機関と連携し、担い手確保に向けた施策（職業体験、免許取得支援、説明会、広報活動等）を推進する。 ■ 同様に、公共交通空白地有償運送やデマンドバスの担い手確保についても、取組を行なう。
今年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 北海道バス協会・北海道主催によるバス運転手合同採用説明会開催のお知らせを広報に掲載した。 ◆ 公共交通空白地有償運送が行われている厚田区においては、厚田区地域協議会を通して、あつたライフサポートの会（NPO法人）の存続可否を含めた持続可能な移動手段の確保に向けて地域住民と意見交換を進めた。（再掲）
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> □ 次年度も引き続き合同採用説明会など担い手確保に向けた取組を広報に掲載する。 □ 厚田区においては、厚田区地域協議会を通して、引き続き持続可能な移動手段の確保に向けて議論を進める。（再掲）

広報いしかりへの掲載（令和元年11月号）



北海道バス協会と北海道との連携のもと、「バス運転手・合同採用説明会」を開催します。2（土）10時～15時 札幌運転免許試験場（札幌市手稲区曙5・4・1・1）（一社）北海道バス協会 ☎011・621・4161



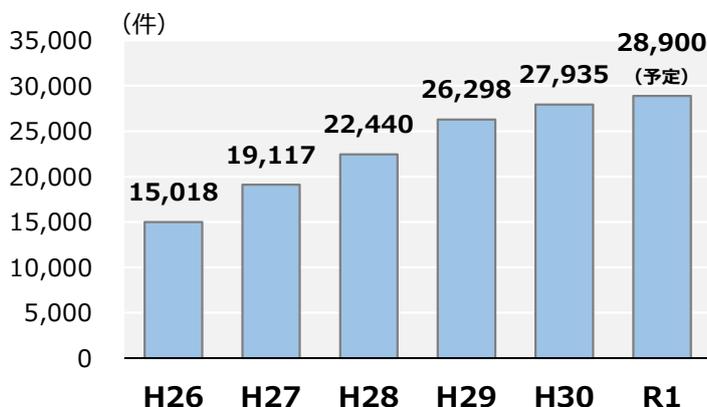
基本方針④ わかりやすい情報提供の仕組みづくり

項目	施策10 公共交通マップの作成及び普及
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者毎に公共交通に関する情報発信が行われているが、市民・観光客・移住者にとってわかりやすい公共交通の情報を一元化した公共交通ガイド（マップ・時刻表・観光ルート等）を作成し、情報案内の充実を図る。
今年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 石狩市WebGISにおいて、バス停・時刻表を最新の情報に適宜更新を実施した。 今年度WebGISの利用者に対して実施したアンケート調査結果では、約3割の方がバス路線の情報収集に利用頂いている。（閲覧件数：H30年度 27,395件、R1年度 28,900件（予定））
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> 一般混乗スクールバスにて、バスロケーションシステムの実施を検討する。

石狩市WebGIS TOP画面



【参考】石狩市WebGIS閲覧件数の推移



詳細検索画面



バス停時刻表

調べたいバス停毎の時刻表が表示

行先	バス番号	石狩市庁舎前	石狩市庁舎前
石狩市庁舎前	12:00	25	04:36
	12:05		14
	12:10	58	02
	12:15		02
	12:20		54
	12:25	03:52	23
	12:30	39	36
	12:35	44	31
	12:40	09	01:49
	12:45		44
	12:50		
	12:55		

行先	バス番号	石狩市庁舎前	石狩市庁舎前
石狩市庁舎前	12:00	00	04:34
	12:05		22
	12:10	56	24
	12:15		24
	12:20		22
	12:25	55	22
	12:30	37	22
	12:35	29	26
	12:40	07	26
	12:45	41	34
	12:50		
	12:55	24	